

第8回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

1 開催概要

日 時 令和8年2月6日（金）18：30～19：35

場 所 浜田市立中央図書館 多目的ホール

出席者 別紙名簿のとおり

2 議事次第

(1) 会長挨拶

(2) 協議事項

「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」について

3 議事録

(1) 会長挨拶

豊田会長より挨拶。内容は以下のとおり。

豊田会長	お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。今回、検討委員会は最終回ということで、進めていく予定となっております。前回、12月9日に行いました、第7回検討委員会では色々な意見、修正のコメントをいただき、その修正を反映したものを、年末にお配りしました。その修正案を事前に見ていただいて、皆さまからご意見いただき、追加の修正を反映させたものが今回の構想案となっております。資料は事前にお送りしておりますのでご確認いただいているかと思いますが、更なる追加の修正点などがあればまた教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。
------	--

(2) 協議事項【資料1】

「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」について

事務局より資料に基づき説明。

小川委員	内容を変更するものではありませんが、私の意見の中で修正できなかったものがありましたので、説明させていただきます。5ページに昨年度、私も委員を務めさせていただいた石見神楽伝承内容検討専門委員会からの「石見神楽の保存・伝承に関する提言書」の内容が抜粋されていますが、誤解をされたいけませんので、一言添えたいと思います。「祭礼行事の簡素化などに伴う奉納神楽や夜明け舞の減少により、石見神楽の基本である「儀式舞」を舞う機会が減少しており」という文言がありますが、改めて読みますと、夜明け舞などが無くなり、舞の演舞の時間が短縮されたことで儀式舞を舞う機会が減ったというのは、これは団体事情のことであり、短い時間でも舞おうとすれば、努力としてそれを舞えることですので、夜
------	---

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

豊田会長	<p>明け舞などがなくなったから儀式舞が衰退していくというのは、強引かなと思いました。今回の資料としては、昨年度の専門委員会の提言書からの引用ということで修正はできませんでしたが、昨年度の専門委員会で修正しておけば良かったと感じています。</p> <p>ご意見として、提言書からの引用の部分の修正意見をいただいていたのですが、ここは引用の部分であり修正ができず、そのままになっているということでした。</p>
福浜副会長	<p>私が出させていただいた意見について、どのような考えで意見を提出したか説明させていただきます。27 ページの、「芸術・文化施設の整備や管理運営に精通したコーディネーター」という部分ですが、やはりこの度の伝承施設の目玉は、舞殿と保存、特にデジタルでの保存という 2 つが、いわゆる 2 枚看板になると感じております。今回は基本構想ですので、今後、実施計画、実施設計などに入っていきと思いますが、その際に 2 度手間、3 度手間にならないように、特に舞台となると、そこに精通した専門家の方に入っていただかないと、後でしまったということになりますし、当然そこには、神楽関係者の方々の意見をしっかり踏まえた上で、基本となるところは専門家の方がお持ちだと思いますので、そこをしっかりとぶつけていただくということと、29 ページの今後の展望のところにもありますが、デジタル保存のいわゆる不正防止や、意匠の問題も本来は一緒に進めていかないと、保存してしまって、後でまたやり直しということになるとまたそれも 2 度手間になりますので、そういった意味で、早い段階でこの実施に至っては、専門家の方に助言をいただき、その際に費用も掛かるとは思います。事業そのものを出すということよりも、コンサルタント的に入っていただけたところを募集された方が良いのではないかとこの意見です。</p>
豊田会長	<p>運営体制が上手くいくために、コーディネーターも必要というところで、文言が追加されているということです。</p>
大下委員	<p>22 ページの拠点施設の構成及び管理運営方針についてですが、神楽産業ゾーンが必要と思います。常設展示ゾーンや企画展示ゾーンに含まれているのではないかとと思いますが、そういう部分がないと、石見神楽を創り出したまちというのが、全面的に出せないのではないかとと思いますし、アピールもしなければならないのではないかとと思います。</p>
豊田会長	<p>今は、事前に意見を出された方に補足をいただいておりますので、構想案に対する修正意見については後程お伺いさせていただきます。本日も欠席ですけれども、仲野委員から事前に構想案に対する意見と感想をいただいておりますので事務局より読み上げをお願いします。</p>
事務局	<p>本日欠席ですが仲野委員より、構想案に対しての感想ということで、メ</p>

第8回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

	<p>ッセージをいただいておりますので、紹介させていただきます。まず1つは前回の検討委員会にて指摘した「1. 基本構想策定の趣旨」については簡潔にまとめられており、良い修正案になっていると思いますとのことです。それから、施設関係については令和6年度の石見神楽伝承内容検討専門委員会の際に施設ありきではなくということ議論の中で施設が必要であるという認識に至ったように思いますということで、最終的にはお金が掛かる、掛からないではなく冷静な判断の上で結論を出していただきたいと思いますとのことです。最後に感想として、個人的にはとても有意義な会であったと思います。浜田だからこそこのような白熱した議論ができたのだと思います。石見神楽の発祥地に相応しい検討委員会だったと思います。このような会に加えていただきとても感謝しております。という感想をいただいておりますのでご紹介させていただきます。</p>
豊田会長	<p>それでは先ほど説明のありました基本構想案につきまして、委員の皆さんからご質問、ご意見等をお伺いしたいと思います。構想案の修正が必要とご意見につきましては何ページのどの部分をどのように修正をしたらよいかも併せてご意見いただきたいと思います。先ほどの大下委員の意見について、どこを修正すればよろしいでしょうか。</p>
大下委員	<p>どこになるかは分かりませんが、神楽産業については、企画展示、常設展示や情報発信といった、どこにでも含まれるとは思いますが、今までのこの産業の歴史が深く知ることができたりとか、もしくは職人さんが毎日おられたりといった、産業ゾーンのようなものがあるべきでないかと思います。</p>
豊田会長	<p>これは常設してあるようなイメージでしょうか。常設展示ゾーンのところに神楽産業に関する歴史をとというような文言を追加するというようなことが考えられると思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>神楽産業のゾーンというご意見でしたが、基本的には今回は構想ですので、具体的に施設の部分へ関わるのところまでは、なかなか議論が進まない部分もあり、具体的な表現も少し削った経緯もありました。今、言われる神楽産業に関するところについては、展示の中で、「触れる、感じる」、「知る」のところで、神楽用具を間近で見たり実際に触れたりして質感を感じる、また、製作工程に使われる和紙などに触れたり衣裳の刺繍などを実際に触ったりすることで、作り手の存在や技術の工夫みたいなものを感じられるようなコーナーということは、ここで表現できればと思っております。当然、「知る」の部分では、神楽産業の歴史についても、解説をしていくような想定で記載をしています。ただ、そういうコーナーを作るということであれば修正が必要とは思いますが、このあたりはいかがでしょうか。</p>

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

福浜副会長	<p>大下委員の意見、非常にそうだなと思ったところです。これ伝承施設です。舞殿ゾーンについては、舞の文化の継承ということが書いてありますが、神楽産業によるものづくりの継承伝承、こういったところの文言を入れとかなないと、全てを次につなげていく上で、重要なポイントではないかと思います。それについて、皆さんのお知恵を借りたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局案ですけども、大下委員がおっしゃることは、展示ゾーンで表現されています。今、この文章が「石見神楽の歴史や特徴、ものづくりの技術など」となっていますが、ものづくりの全体像を見たり触れたりという意味で「歴史」という言葉を追加するのはいかがでしょうか。</p>
豊田会長	<p>神楽産業を強調して欲しいという意見とっておりますので、神楽産業があつてこの地で神楽が盛んになったというようなことを理解できるような意味合いを常設展示ゾーンに入れるのはいかがでしょうか。</p>
大下委員	<p>石見神楽を創り出したまちというぐらいなので、すべてがパッと見えて、そこにはもう今までの歴史ももちろんあるし、そういったことも必要と思います。ですけど、やはり産業ゾーンみたいな部分がないと、何かすっきりしないと思います。</p>
小川委員	<p>今、お話を伺っていて、そうだなと思う部分もあります。ものづくりというのは浜田の石見神楽の歴史にとって、非常に大事であり、これを抜粋するか、しないか、展示ゾーンの中に入れてその中で取り扱うという考えもありかなと思いながら聞いていました。改めて意見を伺うと、そこを抽出するのも、大事なのかなと個人的には思っております。展示ゾーンの後に括弧書きでものづくりの伝承ゾーンというふうにするのもありなのかもしれないですが、その辺の展示について、ものづくりを物語る浜田において、それがそれがいかに、大事なものであるか、石見神楽を象徴するものであるかということを取り扱うというのは大事かなと感じています。扱いについては、抽出するのか、新たな文言を追加するのか色々な意見を承りたいと思いますが、少しそこは強調すべきところかなと個人的には思っています。</p>
浅沼委員	<p>神楽産業ゾーンというのは確かになるほどと思って、聞いていました。昨年度の専門委員会の提言でも、この産業っていうのは必ず言葉として出てきていますので、ないといけなかなとも思いました。ただ、では具体的にどういう形に入れるのかと言われると、今言われたばかりで、まだイメージしにくいと思っています。展示の中でということでもありだと思いますし、或いは情報発信のところでも 1 つ、そういった部分を作るということもありかなと思いました。</p>

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

小川委員	<p>考え方としては、今、教育委員会を中心に、ものづくりの文化財指定に向けて一生懸命取り組まれているところであって、今後どういう展開をされていって、また、どういう扱いになっていくのか分かりませんが、今取り組まれている部分としても、追加ではないですが、強調することも必要なかなと感じました。</p>
福浜副会長	<p>6 ページの、昨年度の提言の中にある、石見神楽関連産業、ものづくり技術の保存・継承について、ここに書いてあることはよくできていると思います。6 ページの 2 番の文言をこの常設展示ゾーンの中に組み込めないでしょうか。</p>
事務局	<p>15、16 ページの展示のコンセプトなどのところで、神楽産業コーナーではないですが、そういったものを組み込みますというような表現やその部分を少し強調し、さきほど言われた少し展示ができるトピック展示などもあるかもしれませんが、そういったことがしっかりこの中で、わかるような表現を考えるとということではいかがでしょうか。ゾーンとして入れると、そのゾーンの中で何するかという文言も入れないといけませんし、先ほどありました、そこに工房みたいなものがあってということまで書かなければ神楽産業ゾーンが何かというのが分かりません。今、いろいろご意見の中でもう少し神楽産業ゾーンというものを少し強調するというのであれば、展示の中の、「見る」「知る」「やってみる」の部分で、神楽産業を伝承するというものをこの中で、担うということがはっきりわかるように調整するということがいかがでしょうか。</p>
豊田会長	<p>ゾーンとして切り分けてしまうと、常設展示や情報発信といった複数のところに神楽産業のことが関わってくるということで、少し中身の方で補強させただけであればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
豊田会長	<p>それこそが、浜田の石見神楽の伝承に必要なことかなと思っておりますので、ぜひ協調した書きぶりに修正をさせていただけたらと思います。</p>
福浜副会長	<p>情報発信ゾーンというのが、ここだけ浮いているような感じがしています。何か情報発信のツールを置くのかということもありますが、全体として情報発信をしていこうということだと思いましたが、この意図を再度確認したいと思います。</p>
事務局	<p>この情報発信ゾーンというのは拠点施設で考えたときに、おそらく入場料を払って入っていくような格好になるのではないかと考えていますが、ハブ拠点ということもあり、情報発信ゾーンの中でも情報発信機能そのものは、色々な情報を一元的に集約して、情報を発信する準備するようなソフトのところも重要ですけども、やはり拠点だということで、ここに来た</p>

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

福浜副会長	<p>ら色々な情報が分かる、情報発信も非常に重要だということでしたので、ゾーンとして位置付けています。それは、観光案内みたいなものかもしれませんが、さきほど言ったソフトの話もあるかもしれませんし、ご意見いただいた中で一般的な観光だけでなく、神楽団体同士の情報交換など、それをオープンにするか、クローズするかは別ですけども、そういった仕組みをこの中で構築していくという意味で、情報発信ゾーンをゾーンとして、設定しているということです。</p>
事務局	<p>ゾーンというと、1 つ 1 つが区分けされるイメージになってしまいますが、全般にそういう機能もきちんと有して、全体に配置していくということで、切り分けてという話ではないのでしょうか。</p>
堀尾委員	<p>中々、切り分けられるものと切り分けられない部分もあるかもしれません。特に調査研究ゾーンについては、どこまでが調査研究ゾーンなのかということもあります。そういう意味では、情報発信についても同様かもしれませんが、1 つはそういうコーナーみたいなものは、一定のエリアがあるのではないかとということでゾーンという言い方をしています。</p>
事務局	<p>19 ページの交流機能の活用で、目標では「舞の文化の継承を主眼とし」となっていて、取組方針では「石見神楽のものづくり技術や資源を活用した商品開発・事業開発や観光への展開を進め、地域経済の活性化につなげます。」となっており、繋がりが無いような感じがします。10 ページの交流機能のところでは、「舞殿を核として」となっており、舞殿に集中して書くとする 19 ページの取組方針の下のところは、ここではないのかなという感じがします。そうではなくて、舞の文化の継承とともに、神楽産業の文化の継承という形であればここにあってもよいのかと思いました。</p>
堀尾委員	<p>今、交流機能の実現手法としては、基本的には舞殿の整備と多目的室の整備という 2 つが具体的な部分です。その他の商品開発や観光への発展というのは、具体的には中々ありませんが、多目的室の想定される活用シーンの中で、産業振興とかビジネス利用、また、クリエイターによって新しいものが開発されるというようなところも想定して、取組方針に記載しているものです。</p>
福浜副会長	<p>そうすると、目標のところは舞の文化だけという感じがしますので、「神楽産業を大切に」や「文化継承」を加えた方がよいと思います。</p>
豊田会長	<p>確かに 19 ページの目標に、神楽の産業などを含めたところを入れていただくとかかなりすっきりするかもしれません。</p>
事務局	<p>22 ページの「郷土資料館などの他の文化施設等との複合施設とはせず」という表記について、私たちが話していたのはそもそも合築ではなく、施設だっというところでお話をしていましたが、特化した拠点施設として整</p>

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

柿田委員	<p>備するということが望ましいというような考えということは良いと思いますが、ここに「郷土資料館など」という具体的な名前が出ているのは少し違和感を持っておりまして、「他の文化施設等との複合施設とせず」ということでもよいのかと思います。</p> <p>前にも説明しましたが、市議会議員の方から言われたいきさつがあって、ここできちんと言わないといけないと思っています。もう何度も、婉曲して、その点に触れないできていましたが、この度はきちんと書いてあるのでこれで良いと思っています。</p>
川本委員	<p>委員としてこういうこと言っていていいかわかりませんが郷土資料館の関係者ということで、発言をさせていただきます。まずこの文案については私も何度も読ませていただきました。その中で、主語はあくまで「検討委員会では」となっていますので、この点について、私は今日の会議を出席するに当たっては、良しとするしかないと思っています。同時に、本来この検討委員会とは関係ない発言になりますけれども、そうであるならば、資料館の関係者としては、老朽化してもう 60 年以上、65 年近くなる郷土資料館については別途、浜田市として、建て替え整備についてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。ただ、繰り返すようですが今回のこの基本構想案におきましては、大前提としてそういう流れもありましたし、今回はあくまで主語をとらまえて理解してはどうだろうかとは私は理解しております。</p>
豊田会長	<p>この委員会でそもそも言われてはないことで、少し気になったところですよ。</p>
浅沼委員	<p>細かいことですが、私も長らく論文などを書いてきて、少し日本語が気になっているところがありまして、特に、今回の修正ということで黄色で塗ってある中に専門職員等という言葉が文章の中で出てきますが、基本的にこの「等」という言葉は、箇条書きで使う言葉であって、文章の中では、専門職員「など」とよるという書き方になります。</p>
豊田会長	<p>その他ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>意見なし</p>
豊田会長	<p>それでは意見が出尽くしているようですので、ここで事務局と整理を行うため、休憩とします。</p>
豊田会長	<p>会議を再開します。非常に良いご意見をいただきましてありがとうございます。修正箇所は何ヶ所かありましたが、修正の内容につきましては皆様の合意ができているのかと思っております。19 ページの交流機能の目標のところ、神楽産業について追記するという事。また、展示ゾーンに、神楽産業の追記、協調をという修正をしたいと思っておりますが、この修</p>

第 8 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

各委員 豊田会長	<p>正方針に沿って、文言の修正につきましては会長と事務局に一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>それでは修正した構想案については、後日委員の皆様にも郵送させていただきますのでご確認をお願いします。</p> <p>昨年の5月29日に第1回の検討委員会があったということで委員の皆様には夏前から、暑かった夏を超えて、また、明日から寒くなるということで季節を通じて議論を重ねていただきました。非常に白熱した議論、色々な意見をいただいて、皆様の神楽に関する思いが強いということを感じ、その内容を取りまとめることができたと思っています。基本構想案の完成版につきましては本日の意見などを踏まえて、3月末までに委託事業者から市へ提出されることとなっているようです。なお、本検討委員会で取りまとめた基本構想案や検討結果につきましては後日私と副会長で、三浦市長へ報告させていただきますのでご承知おきください。この中には、構想案に書ききれなかったものも入っているかと思いますが、そこも併せてお伝えできたらと思っています。今後は基本構想案も踏まえて市では石見神楽の保存伝承拠点の取り扱いについて検討を進めていかれるかと思っています。委員の皆様におかれましては、熱心な議論に参加いただきまして、また円滑な進行にご協力いただきましたこと、感謝いたします。本当にお世話になり、ありがとうございました。</p> <p>それでは、レジュメの「4 その他」につきまして、事務局からありますでしょうか。</p>
事務局 豊田会長	<p>ありません。</p> <p>委員の皆様から何かございますか。</p>
各委員 豊田会長	<p>なし</p> <p>その他ありましたら、お願いします。</p>
岡田教育長	<p>それでは最後に、私から皆様に御礼を申し上げたいと思います。検討委員会の皆様には、これまで8回に亘りまして、そして今日ぎりぎりまで本当に真剣に、丁寧に、幅広い視点でご議論いただきましたこと、感謝を申し上げたいと思います。またメンバーの多くの方が、この検討委員会の前身の専門委員会から引き続きということでありましたので本当に長い間、石見神楽をどうしていくかということに、多くの意見を賜りましたことを重ねて御礼申し上げたいと思います。この検討委員会に私もずっと参加しておりまして、委員の皆さんがこの石見神楽を保存伝承していくということについて本当に強い思いを持っておられるということも感じることもできましたし、そして何よりもその価値を高めるために、文化財指定が急が</p>

第8回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

れるということや、或いは神楽面や衣裳などの模倣についての懸念があるというような切実な意見なども頂戴しまして、改めてそういった事情を共有することができたということは、私にとっても大変意味のある検討会でした。これまでいただいた貴重なご意見をまとめた構想案については先ほど会長からお話がありましたように、書ききれなかったものも含めて、市長の方に提出していただく、そういう機会を必ず設けたいと思っております。一方で、この拠点を構想案の理想通りに整備しようと思いますと、経営的な面や、或いは人的な面で本当に大きな課題があるということも事実でして、市長は今後この検討委員会に協力をいただいて作成した構想案を、さらに、多くの人の意見を聞いて、それで方針を固めていきたいという気持ちを持っておられます。教育委員会としても一緒になってこの実現に向けて知恵を出していきたいと思っています。結びにあたりまして、立春を迎えたとはいえ、この週末も寒波が来るということで、インフルエンザもどうもまた流行の兆しを見せているということです。まだまだ寒さも続きますが、委員の皆さんには、健康に十分ご留意いただきまして、ますますご活躍されることを、お祈りいたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。